

◎景気ウォッチャー調査[2020年8月]

2020年8月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を0.1ポイント下回る43.0となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや良くなっている」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルスの影響や気温が高いことなどにより、来客数が大幅に落ち込んでいる。」(百貨店)、「年配者が不要な外出や人の集まる場所での買物を控えているため、来客数が減少している。」(一般小売店)等の理由から、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を1.9ポイント下回る43.1となった。

企業動向関連は、「悪くなっている」の回答の割合が減少したため、前月を0.8ポイント上回る43.4となった。

雇用関連は、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「製造派遣業の案件が増加している。」(求人情報誌製作会社)、「新型コロナウイルスの影響で見送られていた飲食業や製造業の派遣求人が再開し始めている。」(民間職業紹介機関)等の理由から、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を10.3ポイント上回る41.2となった。

	8月	7月	前月差
合計	43.0	43.1	-0.1
家計動向関連	43.1	45.0	-1.9
企業動向関連	43.4	42.6	0.8
雇用関連 (参考値)	41.2	30.9	10.3

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を3.5ポイント上回る41.6となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「飲食店の営業時間が元に戻るなど周辺の環境が徐々にではあるが好転しているため、今後、景気は良くなる。」(スーパー)、「新型コロナウイルスの今後の状況次第だが、来客数が増加していることや今後の新型車の投入効果で景気はやや良くなる。」(乗用車販売店)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を1.9ポイント上回る40.3となった。

企業動向関連は、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「秋に向けて地元完成車メーカーの生産が元に戻っていくため、景気は良くなる。」(輸送用機械器具製造業)、「製品の受注状況がやや改善傾向にあるため、景気はやや良くなる。」(鉄鋼業)等の理由から、「良くなる」、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を5.9ポイント上回る46.3となった。

雇用関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少したため、前月を10.3ポイント上回る41.2となった。

	8月	7月	前月差
合計	41.6	38.1	3.5
家計動向関連	40.3	38.4	1.9
企業動向関連	46.3	40.4	5.9
雇用関連 (参考値)	41.2	30.9	10.3